

第 55 回

社会貢献者の記録



公益財団法人
社会貢献
支援財団

第 55 回

社会貢献者の記録

目次

表彰選考委員プロフィール	004
式次第	005
会長挨拶	006
受賞者代表挨拶	008
記念写真	010
表彰式スナップ写真	014
来賓祝辞	022
祝賀会スナップ写真	024
社会貢献者表彰とは	028
受賞者手記 目次	029
資料編	114

表彰選考委員プロフィール

委員長



脚本家 東北大学相撲部総監督

内館 牧子

東京都教育委員会 教育委員ほか

脚本：「ひらり」「てやんでえッ!」「私の青空」「毛利元就」「エイジハラメント」ほか多数

著書：「終わった人」ほか多数

委員



元国税庁長官

大武 健一郎

関西大学客員教授 認定 NPO 法人ベトナム簿記普及推進協議会理事長

著書：「平成の税・財政の歩みと21世紀の国家戦略」「税財政の本道— 国のかたちをみすえて」ほか多数

委員



産経新聞 大阪本社 編集局 編集長

小川 記代子

委員



久米繊維工業株式会社 取締役相談役

久米 信行

著書：「メール道」「ブログ道」(NTT 出版)「NPO のための IT 活用講座 効果が上がる情報発信術」「すぐやる人だけがチャンスを手に入れる」ほか

委員



ノンフィクション作家 公益財団法人民間放送教育協会会長

吉永 みち子

「羽鳥慎一 モーニングショー」コメンテーター

「あさチャン! サタデー」コメンテーター

著書：「気がつけば騎手の女房」「性同一性障害」「26の生きざま」「老いの世も目線を変えれば面白い」「試練は女のダイヤモンド」ほか多数

式次第

第一部 表彰式

10：30…開 式

- ・ 会長挨拶
- ・ 選考委員紹介
- ・ 表彰状並びに副賞の贈呈
- ・ 受賞者代表挨拶

12：20…閉 会

第二部 祝賀会

12：30…開 宴

- ・ 来賓祝辞

13：30…閉 宴

(2020年11月30日 於帝国ホテル東京)

会長挨拶

皆様おはようございます。社会貢献支援財団の会長を務めさせていただいております安倍昭恵でございます。

まずは、受賞者の皆様、そしてその活動を支えていらっしゃいますご家族はじめ関係者の皆様に、心から敬意を表しますとともに衷心よりお祝いを述べさせていただきます。

世界では新型コロナウイルスの感染者が拡大を続け、わが国でも寒い時節を迎え、じわじわと感染者の数がまた増加し、東京都は警戒レベルを再び最高に引き上げております。

このような状況を踏まえ、表彰式の開催について慎重に検討をいたしました。出席者の皆様の数を制限させていただくなど密閉、密集、密接をさけ、十分に感染予防の環境を整えた上で、やはり、受賞者の皆様の心から表彰申し上げ、お祝いをさせていただこうという主旨から、このような会場造りの下で挙行させていただくこととなりました。

本日は選考委員会におきまして選考されました41件の活動を表彰させていただきますが、新型コロナウイルスの感染防止から欠席されている受賞者の方もおります。規模縮小となりましたが、本式典を開催できますことを大変喜ばしく、ご支援いただいております日本財団はじめ関係各位に心よりお礼申し上げます。

さて、コロナ禍での受賞者の皆様の活動は、運営上の資金の確保に一層厳しさを増し、ボランティアの熱意や寄付などを頼りに、なんとか運営されている状況下でございます。

先般、今回の奨励賞受賞者で、神戸でDV被害者の家族の生活保護や自立に向けて活動をされている「NPO 法人女性と子ども支援センターウィメンズネット・こうべ」の正井禮子さんの活動の現場を訪問させていただき、利用者の切実な声を直接伺う機会がございました。

正井さんの活動の背景には、DV被害者を守るためのよりどころとなる「DV防止法」がございます。何度か改正され、徐々に拡充してきていますが、被害者の数は増加し、シェルターに保護し、加害者を遠ざけても、生活の自立までは及ばない現実が



ございます。

そのようななかで、正井さんはシェルターへの緊急的な一時保護からその後の生活再建までの長い支援を続けていらっしゃいます。

本日の受賞者の皆様の活動も、環境面や財政面などで非常に厳しいなかで、行政の足りない、行き届かない面を埋め合わせるような活動を続けていらっしゃる皆様です。

どうか皆様には、今後とも活動を続けていただき、わが国が誰にとりましても住みやすくなるよう、お力をお貸しいただきたくお願い申し上げます。

そして一つお願いがございます。歴代の選考委員長の挨拶でもお伝えしていますが、本日の副賞のお金は、活動資金ではなく、是非、個人・ご家族・関係者の皆様でお使いくださいということでございます。美味しい物を食べたり、温泉に出かけてリフレッシュするなど、どうぞお好きなようにお使いくださいませ。それが皆様の明日への活力となるのであれば、当財団としてこれほど嬉しいことはございません。どうぞよろしくお願い申し上げます。

最後に、本日ご列席の皆様のご健勝と一層のご活躍を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。受賞者の皆様、本当におめでとうございました。

公益財団法人社会貢献支援財団
会長 安倍昭恵

受賞者代表挨拶

皆様こんにちは。本日は皆様の代表というようなことは存じずに、この挨拶を受けさせていただきまして、非常にお恥ずかしいというような気持ちでおりますが、社会貢献支援財団の皆様おひとりおひとり、そして選考委員の皆様、本当にありがとうございます。

私のことを少しだけお話させていただきますと、1992年、まだ学生の頃に緊急救援活動のボランティアとしてカンボジアに足を踏み入れた際、現地の人たちが本当に大変だろうと思って助けに行っただけにもかかわらず、私が逆に現地の人たちから励まされて、カンボジアの人たちひとりひとりの生きる力、自然と共に育まれた彼らの文化と共に生きるというその力を、身をもって知り、その時にこの人たちと何か戦後復興になる礎となる活動ができたかと思っただけで現地に残り、何かしらカンボジアの人たちの生きがい、そして誇りになるようなものを創っていきたくて調べているうちに、戦前にカンボジアにはとても有名な胡椒があったということで、もう一度その胡椒を世界一と言ってもらえるように頑張ってみるやろう、そういう思いで始めました。

ただ、生産するだけでは彼らの所得が上がるわけでもなく、やはりそれはせっかく良いものを作っても売れていかないと皆に認めてもらえるようにならない、生活向上にはならない。そんななか、偶然、運良く秋篠宮殿下がカンボジアを訪問されて、その際にお土産としてお買い上げいただきまして、ああ、そうかカンボジア国内で販売する方法があるのだな、と気づいたなか、今そこに座っている妻と出会って、彼女が、女性をターゲットにして女子目線で商品づくりをしていこうと、そうすることによって、男性にも女性にもたくさんの人に愛される商品になっていく、そういう商品づくりから、フェアトレード、地元の人、消費者の人、地域社会、そして環境にも優しいそういう物流、ものづくりをしてカンボジアの人だけではなく日本の人たちにも喜んでもらえる、そして皆せっかく生まれてきたこの命を幸せだ、生まれてきて良かったと思って生きていけるそんな社会づくりを、たった一粒の小さい胡椒の粒ですけれど、それを通じて広げていけたらなと思って活動してまいりました。ここまで来るにはた



くさんの人たちの多くのご支援、そして協力があって、多分ここにいらっしゃる皆様、皆同じようにいろんな方々の協力を得ながらここに来させていただいていると思います。そういった活動のひとつひとつを見出していただいて晴れの舞台にお招きいただきましたことを心からお礼申し上げたいと思います。

本日は安倍会長をはじめ、社会貢献支援財団の皆様、心からお礼を申し上げたいと思います。本当にどうもありがとうございました。

株式会社クラタペッパー

倉 田 浩 伸

記念写真



小旗 はるみ



竹中 ゆきひろ
エフエムの代表取締役



河合 京子



村田 純子



石坂 知子
石坂産業株式会社



安倍 昭恵
会長



榎本 地域ネットワーク協会
後藤 洋一



山本 忠



地域環境デザイン研究所
太田 航平
e: o t o n e



バクサンハン児童支援協会
田ヶ谷 雅夫



アップライジング
齋藤 幸一

第55回 社会貢献者表彰式典

公益財団法人 社会貢献支援財団

Supported by 日本 NIPPON 財団 FOUNDATION



北尾 真奈美
DAI X₂

10代・20代の妊娠SOS
新宿・キッズ&ファミリー
佐藤 初美

井勝 めぐみ
DAI X₂

馬場 菊代
エスペンダ

アニマルセラピー塾
中川 久美

安倍 昭恵
会長

岩本 功

松本 亜樹子
FINE

大分工業高等専門学校
足踏みマシンボランティア部
清家 玲里

石巻海さくら
高橋 正祥

大分工業高等専門学校
足踏みマシンボランティア部
柳田 彩海

第55回 社会貢献者表彰式典

公益財団法人社会貢献支援財団

Supported by 日本 THE NIPPON FOUNDATION



松本ヒロヤ 及び 友成 友成
鈴木 雅則



小阜川 明子



ルワンダの教育を考える会
永遠瑠 ルーシー



KURATA APPRECIATION
Co., Ltd.
倉田 浩伸



安倍 昭恵 会長



檜山 わびねず
大輔



星川 安之



日本財団 贈書 贈書
鈴木 眞理



根津 さゆり

第55回 社会貢献者表彰式典

公益財団法人社会貢献支援財団

Supported by 日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION



international
Accept
永井 陽右



金本 秀韓
とろろで



角 和代
ほつぎ民謡の会



可児 佳代
「hand in hand」
風疹をなくそうの会



瀧 香織



安倍 昭恵
会長



セカンドハーベスト京都
澤田 政明



田中 ルーデス 千江美



関藤 竜也
クラマシ



増井 さち

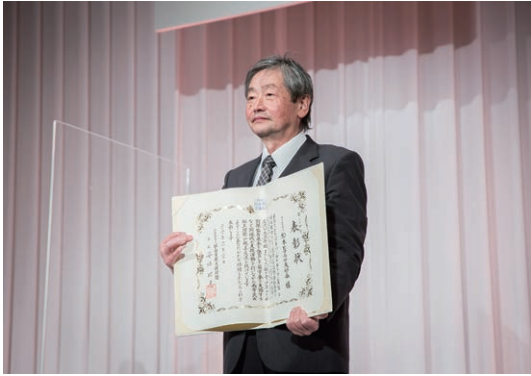
表彰式

















来賓祝辞

皆様こんにちは、日本財団の尾形でございます。

本来ならば会長笹川陽平が挨拶する予定だったのですが、ミャンマーへ総選挙の監視団として日本政府代表で行っております。くれぐれも皆様方に心からお祝いを述べるようにと申しつけがございましたので、ここで披露させていただきます。



第55回の社会貢献支援財団の表彰式、そして41の団体と個人の方が今日表彰されました。皆様の活動を聞かせていただいて、考えさせられることが多かったと思っております。

日本財団は色々な仕事をしております。その守備範囲は社会課題先進国といわれているこの日本で、限りなくございます。その社会課題のすべてが私どもの守備範囲でございます。これは法律の立て付けがそうとなっておりますので仕方がないのですが、ただすべての物に私どもが手を出すわけにはいきません。従いまして4つの関心領域を定めております。一つは少子高齢化社会による子ども、それから老人をどうするかと。それから障がい者をどうしようかということ。そして来るべき災害にどのように応えるかと。もちろんこれだけが私たちの守備範囲ではなく、これだけに対応しているわけではなくて、海の環境をどうしようかとか、それから日本の基幹産業である造船業をどうしようかということも一方ではありますし、それから今日伺ったたくさん問題にも対応しております。

私どものモットーは、よく言われている行政の手の届かないところにいる人たちへの支援ですが、行政がやろうとしていることの一步先を行きたい。今日皆様方の活動をご紹介いただき、本当に考えさせられました。私どもがやろうと思っていることのはるか何十年も前から皆様方がそれをもうやって来たということに今気づかされました。もう少し我々の態度といいますか、日本財団のものの考え方の方向を少し転換しなくてはいけないかなと。書類であるとか、ビデオであるとか、メッセージだけで我々を知るのには限界があります。皆様方のように直に困っている人々と接している方々のおっしゃることやなされていること、まさしく行政の手の届かないところで活躍し

ていらっしゃいます。もちろんそういう方たちを表彰するためにこの社会貢献支援財団が設立されてもうすでに50年近くになります。それをやってきたつもりではありますが、社会もどんどん輻輳してくるとどうしても行政の手が届かない所が多く出て来ます。第一セクターや第二セクターの方々の手が届かない隙間を埋めていかななくてはならないその仕事がどんどん増えていく、種類も増えていく。我々はもっともっと現場の身近なところで活動を見直す必要があると今日改めて思い知らされました。

今日の41の表彰を受けられた方のなかで既に日本財団と直接的に事業を展開されている方もいらっしゃいます。先ほどの安倍会長のご挨拶にもありました、大変な思いをして運営されていると思います。できることなら私どももお手伝いをしたいと思います。どうぞご遠慮なさらずに私どもに相談して下さい。我々はいつも門戸を開けております。誰で良いこれで良いと言ったことは一度もありません。皆さん、私どもにできることをさせていただきたいと思います。

本当に感動いたしました。日本の国内に限らず、海外でも命をかけて仕事をされているとっております。そのことが日本の国の価値を高め、そして信頼を得る崇高な行動だと思っております。どうぞいつまでも長く続けてください。継続は力です。我々はその継続をこれからも支えていきたいと思っております。皆さん本日はおめでとうございます。心からお祝い申し上げます。そしてこのような仕事に資金を出させてもらっている私どもからも感謝を申し上げたいと思っております。

最後に、このコロナ禍でこれだけの準備をしていただいた社会貢献支援財団の皆さん、役員、選考委員の先生方、皆様方に心から感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。そしておめでとうございました。

日本財団
理事長 尾形武寿

祝賀会



